

別府大学学則

第1章 総 則

第1節 目 的

(目的)

第1条 別府大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に則り、建学の精神「真理はわれらを自由にする」を基礎にして、深く専門の学芸を教授研究し、もって高い専門能力と広い教養を身につけ、豊かな人間性を備え、進んで社会に貢献しようとする人材を養成するとともに、学術・文化・社会の発展に寄与することを目的とする。

(自己評価等)

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 前項の点検及び評価に関して必要な事項は別に定める。

(情報の積極的な公表)

第2条の2 本学における教育研究活動等の状況について、広く周知を図ることができる方法によって積極的に公表するものとする。

第2節 組 織

(学部学科及びその目的)

第3条 本学に、大学院及び学部・学科を置く。

大 学 院	
文 学 部	国際言語・文化学科 史学・文化財学科 人間関係学科
食物栄養科学部	食物栄養学科 発酵食品学科
国際経営学部	国際経営学科

2 大学院の学則は、別に定める。

3 学部及び学科の教育研究上の目的を別表第11のとおり定める。

(入学定員及び収容定員)

第4条 前条の学部・学科の入学定員、編入学定員及び収容定員は次のとおりとする。

学部	学 科	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員
文学部	国際言語・文化学科	100	—	400
	史学・文化財学科	100	—	400
	人間関係学科	70	—	280
食物栄養科学部	食物栄養学科	70	7	294
	発酵食品学科	50	—	200
国際経営学部	国際経営学科	100	—	400

(附属図書館)

第5条 本学に、附属図書館を置く。

2 附属図書館に関する規則は、別に定める。

(附属博物館)

第6条 本学に、附属博物館を置く。

2 附属博物館に関する規則は、別に定める。

(研究所等)

第7条 本学に、アジア歴史文化研究所を置く。

2 アジア歴史文化研究所に関する規則は、別に定める。

3 第1項に掲げるもののほか、本学に教育研究上必要な研究所等を置き、当該研究所等に関する規程は別に定める。

第3節 教職員組織

(教職員)

第8条 本学に、学長、教授、准教授、講師、助教及び事務職員を置く。

2 本学に、前項のほか、副学長、学部長、学長補佐、学科長、コース主任を置き、その他必要な教職員を置くことができる。

3 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

第4節 教授会

(教授会)

第9条 各学部教授会を置く。

2 教授会は、学部所属専任の教員をもって組織する。

3 学部相互に関連する事項を審議するために、教授会を連合して開くことができる。

4 教授会の運営に関する規程は別に定める。

第5節 学年・学期及び休業日

(学年)

第10条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(学期)

第11条 学年を分けて次の2学期とする。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年3月31日まで

2 各学期の授業実施日等は、別に定める学年暦による。

(1年間の授業期間)

第12条 1年間の授業を行う期間は、期末試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(各授業科目の授業期間)

第13条 各授業科目の授業は、10週又は15週にわたる期間を単位として行うものとする。

ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

(授業を行わない日)

第14条 学年中の授業を行わない日(以下「休業日」という。)は、次のとおりとする。

一 日曜日

二 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

三 春期休業日

四 夏期休業日

五 冬期休業日

2 前項第3号から第5号までの休業日の期間は、学年暦により定める。

3 学長は、必要があると認めるときは、第1項に定める休業日のほかに臨時の休業日を定め、又は第1項に定める休業日を授業実施日に変更することができる。

第2章 通 則

第1節 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第15条 本学における修業年限は4年とする。

(在学年限)

第16条 学生は8年をこえて在学することはできない。ただし、休学の期間は、これを算入しない。

2 第22条、第23条及び第24条の規定により入学した学生は、第25条により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することはできない。

第2節 入学、編入学、転入学、再入学

(入学時期)

第17条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、外国人留学生・帰国子女は、後学期の始めに入学することができる。

(入学の資格)

第18条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当し、かつ本学所定の入学試験に合格した者とする。

一 高等学校を卒業した者。

二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む）。

三 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。

四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。

五 文部科学大臣の指定した者。

六 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者。

七 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者。

(入学の出願)

第19条 本学への入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて願出しなければならない。

(入学者の選考)

第20条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(入学手続き及び入学許可)

第21条 前条の選考の結果にもとづき、合格の通知を受けた者は、所定の期日までに誓約書及びその他の必要書類とともに、所定の入学料を納入しなければならない。

2 前項の入学手続きを完了した者に学長は入学を許可する。

(編入学)

第22条 本学に編入学を希望するときは、選考のうえ、入学を許可することができる。

2 編入学に関する規程は、別に定める。

(再入学)

第23条 本学または他の大学を退学した者が再入学を希望するときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、入学を許可することができる。

2 本学または他の大学を卒業した者が入学を希望するときは、前項の規定によるものとする。

3 再入学に関する規程は、別に定める。

(転入学)

第24条 他の大学の学生が転入学を希望するときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、入学を許可することがある。

2 転入学に関する規程は、別に定める。

第25条 第22条、第23条、第24条の規定により、入学を許可された者のすでに修得した単位の取り扱い並びに在学すべき年数については、学長が決定する。

第3節 教育課程及び履修方法等

(授業科目、授業の方法)

第26条 本学の授業科目は、教養科目及び専門科目とする。

2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

3 本学は、大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第25条第2項の規定に基づき文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

4 本学は、第2項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

5 本学は、大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第25条第2項の規定に基づき文部科学大臣が別に定めるところにより、第2項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

6 授業科目の種類、単位数等は別表第1のとおりとする。

(履修科目の登録の上限)

第26条の2 学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が1年間又は1学期に履修科目として登録できる単位数の上限については、規則で別に定める。

(外国人留学生及び帰国子女に関する授業科目等の特例)

第27条 本学は、外国人留学生（大学において教育を受ける目的をもって入国し、大学に入学した外国人留学生をいう。）及び外国において教育を受けた学生（以下「帰国子女」という。）に関する授業科目等について、必要があると認めるときは第26条に規定するもののほか、日本語科目及び日本事情に関する科目を開設することができる。

2 これらの履修に関する規程は別に定める。

(免許・資格科目)

第28条 第26条に定めるもののほか、免許及び資格に関する科目を開設することができる。

2 授業科目の種類、単位数等は、別表第2・第3・第4・第5・第6・第7のとおりとする。

(単位の計算方法)

第29条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

一 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

二 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、本学が定める時間の授業をもって1単位とすることができる。

三 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(単位の授与)

第30条 授業科目を履修し、その試験又は論文等の提出により合格した者には、所定の単位を与える。ただし、授業時数の3分の2以上出席しなければならない。

(成績評価)

- 第31条 授業科目の試験等による成績は、AA、A、B、C及びFの5段階の評語で表す。
2 評語のAA、A、B及びCを合格とし、Fを不合格とする。
3 成績評価の基準は、別に定める。

(入学前の既修得単位等の認定)

- 第32条 本学において、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む。以下同じ。)において履修した授業科目について修得した単位(第67条の規定により修得した単位を含む。)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
2 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った第34条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学・再入学・転入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて30単位を超えないものとする。
4 前3項による単位の認定は、教養科目又は専門科目の単位とする。
5 単位の認定に関連して修業年限の短縮は行わない。
6 入学前の既修得単位等の認定に関する規程は、別に定める。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

- 第33条 本学において、教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議により、学生が当該他大学又は短期大学の授業科目を履修することを認めることがある。この場合の履修期間は、第15条の期間に含めることができる。
2 前項の規定により、学生が当該他大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位については、30単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
3 第1項の他の大学又は短期大学の授業科目を履修することを志望する学生は、学部長を経て学長に願い出て、その許可を受けなければならない。
4 他の大学又は短期大学の授業科目の履修等に関する規程は別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

- 第34条 本学において、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
2 前項により与えることのできる単位数は、第33条第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。
3 大学以外の教育施設等における学修に関する規程は別に定める。

(その他)

- 第35条 この節に定めるもののほか、授業科目の履修に関する規程は別に定める。

第4節 休学、復学、退学、除籍、転学、留学、転科

(休学)

- 第36条 疾病その他止むを得ない理由のため、3ヶ月以上修学できないときは、医師の診断書その他事由を証する書類を添えて学長の許可を受け、1年以内休学することができる。但し、特別な事情があるときは、その期間を3年まで延長することができる。
2 休学期間は、通算して4年をこえることができない。
3 休学の時期は、事由の発生した日時にかかわらず、次の学期の始めからとする。
4 疾病のため、修学することが適当でない認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(復学)

- 第37条 休学の期間中にその理由が消滅した場合は、保証人連署のうえ、願い出て学長の許可を得て復学することができる。
2 復学の時期は、学年の前期及び後期の始めとする。

(退学)

- 第38条 疾病またはその他の事由によって退学しようとする者は、学部長を経て学長の許可を

受けなければならない。

(除籍)

第39条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

- 一 第16条第1項及び第2項に定める在学年限をこえた者
- 二 第36条第1項及び第2項に定める休学期間をこえて、なお修学できない者
- 三 授業料の納入を怠り、督促してもなお納入しない者
- 四 長期にわたり行方不明の者

(転学)

第40条 学生が、他の大学に入学又は転学を志願するときは、予め学部長を経て学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第41条 外国の大学又は短期大学で学修することを希望する者は、学長の許可を得て留学することができる。

- 2 前項の許可を得て留学した期間は、第15条に定める修業年限に含めることができる。
- 3 第29条の規定は、外国の大学又は短期大学で学修する場合に準用する。
- 4 外国の大学又は短期大学において修得した単位については、第33条第2項の規定を適用する。
- 5 留学に関する規程は別に定める。

(転学部等)

第42条 本学の学生で、転学部又は転学科（以下「転学部等」という。）を希望する者があるときは、審議の上許可することがある。

- 2 転学部等に関する規程は、別に定める。

第5節 卒業の要件と学士の学位

(卒業)

第43条 卒業の要件は、本学に通算して4年（第22条・第23条・第24条の第1項の規定により入学した者については、第25条により定められた在学すべき年数）以上在学し、別に定める履修規程により、124単位以上を修得することとする。

- 2 卒業の要件を備えた者に対しては、教授会の議を経て、学長が卒業を認定し卒業証書を授与する。

(学士の学位)

第44条 卒業と認められた者に対して学士の学位を授与する。

- 2 前項の学位の表記は、次のとおりとする。

文 学 部	国際言語・文化学科	学士（文 学）
	史学・文化財学科	
	人間関係学科	
食物栄養科学部	食物栄養学科	学士（栄養学）
	発酵食品学科	学士（食物バイオ学）
国際経営学部	国際経営学科	学士（経営学）

第6節 免許、資格の取得

(教育職員の免許状)

第45条 教育職員の免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

- 2 本学において、取得できる教育職員免許状の種類は、次に掲げるとおりとする。

学 部	学 科	教育職員免許状の種類(免許教科)
-----	-----	------------------

文学部	国際言語・文化学科	中学校教諭一種免許状(国語) 高等学校教諭一種免許状(国語) 中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状(美術) 中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(英語)
	史学・文化財学科	中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 高等学校教諭一種免許状(公民)
	人間関係学科	高等学校教諭一種免許状(公民) 高等学校教諭一種免許状(福祉)
食物栄養科学部	食物栄養学科	栄養教諭一種免許状
	発酵食品学科	中学校教諭一種免許状(理科) 高等学校教諭一種免許状(理科)
国際経営学部	国際経営学科	中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(公民) 高等学校教諭一種免許状(商業)

3 本学に教職課程を置き、教育職員免許状取得に関する規則は、別に定める。

(資格の取得)

第46条 文学部において次の資格を取得しようとする者は、それぞれ所定の科目の単位を修得し、学士の学位を取得しなければならない。なお、それぞれの資格取得に関する規則は、別に定める。

- 一 学芸員資格 博物館法および文部科学省令に定める所要の科目の単位
- 二 司書又は司書教諭資格 図書館法、学校図書館法および文部科学省令に定める所要の科目の単位
- 三 外国人に日本語を教育する日本語教育施設の日本語教員の資格 日本語教員養成に関する所要の科目の単位
- 四 社会福祉士国家試験受験資格 社会福祉士及び介護福祉士法に定める所要の科目の単位
- 五 精神保健福祉士国家試験受験資格 精神保健福祉士法に定める所要の科目の単位
- 六 社会福祉主事任用資格 社会福祉法に定める所要の科目の単位
- 七 文書館専門職(アーキビスト) 文書館専門職(アーキビスト)養成に関する所要の科目の単位

第47条 食物栄養科学部において次の資格を取得しようとする者は、それぞれ所定の科目の単位を修得し、学士の学位を取得しなければならない。なお、それぞれの資格取得に関する規程は、別に定める。

- 一 栄養士の免許を受ける資格 栄養士法施行規則に定める所要の科目の単位
- 二 管理栄養士国家試験の受験資格 管理栄養士学校指定規則に定める所要の科目の単位
- 三 食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格 本学で定める所要の科目の単位
- 四 フードスペシャリスト資格 本学で定める所要の科目の単位
- 五 学芸員資格 博物館法および文部科学省令に定める所要の科目の単位
- 六 フードサイエンティスト資格 本学で定める所要の科目の単位

第7節 賞 罰

(表彰)

第48条 学業性行の優良な者または学生の模範となるべき者があるときは、学長がこれを表彰することができる。

(懲戒)

第49条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は、退学、停学、謹慎及び訓告とする。
- 3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
 - 一 性行不良にして改善の見込みがないと認められる者。
 - 二 学業を怠り、成業の見込みがないと認められる者。
 - 三 正当の理由がなくて、出席常でない者。
 - 四 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者。

4 懲戒に関する規程は別に定める。

第8節 厚生保健

(保健管理)

第50条 本学に医療室を設置し、校医、看護婦を置き、職員および学生の保健管理にあたる。

(学生寮)

第51条 本学に学生寮を置く。

2 学生寮に関する規則は、別に定める。

第9節 別科

(別科)

第52条 本学に別科を設け、次の課程を置く。
日本語課程

(目的)

第53条 別科は、外国人留学生に対して日本語及び日本事情について教授し、国際文化の交流への寄与と国際的視野に立つ有為な人材育成を目的とする。

(学生定員)

第54条 本学別科の入学定員は、次のとおりとする。
日本語課程 80人

(入学の時期)

第55条 入学の時期は4月及び10月とする。

(修業年限)

第56条 本学別科の修業年限は1年とする。
2 別科学生は2年をこえて在学することはできない。

(入学資格)

第57条 本学別科に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。
一 外国において通常の課程による12年の学校教育を修了した者で、その教育機関所在国における大学入学資格を有する者。
二 スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で満18才以上の者。
三 日本国以外の教育制度による大学入学資格試験に合格した者。
四 日本の高等学校卒業者に相当する年齢に達し、同等以上の学力があると本学が認めた者。

(休学)

第58条 疾病その他特別の事由により、3ヶ月以上就学することができない者は、医師の診断書その他事由を証する書類を添えて学長の許可を得て、1学年間または1学期間休学することができる。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。
2 休学期間は、通算して2年を超えることはできない。
3 休学期間は、在学期間に算入しない。
4 疾病のため就学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命じることができる。

(復学)

第59条 休学期間中に、その理由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

(退学)

第60条 疾病またはその他の事由によって退学しようとする者は、学長の許可を得て退学することができる。

(除籍)

- 第61条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。
- 一 学費の納入を怠り、督促してもなお納入しない者
 - 二 第56条に定める在学年限を超えた者
 - 三 第58条に定める休学期間を超えてもなお復学できない者
 - 四 長期間にわたり行方不明の者

(開設授業科目及びその単位数)

第62条 本学別科で開設する授業科目の種類及びその単位数等は、別表第8のとおりとする。

(課程の修了等)

- 第63条 本学別科を修了するためには、学生は1年以上在学し、別に定める履修規程により34単位を取得しなければならない。
- 2 前項に定める授業科目及び単位数を取得した者については、学長が修了を認定する。
 - 3 学長は、修了を認定した者に対して、修了証書を授与する。

(入学検定料等の諸納入金)

第64条 本学別科の入学検定料、入学金、授業料及びその他諸納入金の金額は、別表第10のとおりとする。

(その他)

第65条 本学別科に関し、本節に定めるもののほか、必要な事項については別に定める。

第10節 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生及び帰国子女

(研究生)

- 第66条 四年課程の大学を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると認められた者が、本学において特定の専門事項について研究することを志願するときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可することがある。
- 2 研究生に関する規程は別に定める。

(科目等履修生)

- 第67条 本学の学生以外の者で、一または複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。
- 2 科目等履修生には、第30条及び第31条の規定を準用して単位を与えることができる。
 - 3 科目等履修生に関する規程は別に定める。

(特別聴講学生)

- 第68条 本学において、他の大学又は短期大学（外国の大学または短期大学を含む。以下同じ。）の学生が、特定の授業科目の履修を志望する場合は、教授会の議を経て、当該大学又は短期大学との協議に基づき、学長は特別聴講学生として入学を許可することがある。
- 2 特別聴講学生に関する規程は別に定める。

(外国人留学生及び帰国子女)

- 第69条 外国人留学生で、本学に入学又は編入学を志願する者があるときは、選考のうえ、入学を許可することがある。
- 2 帰国子女で、本学に入学しようとする者があるときは、選考のうえ、入学を許可することがある。
 - 3 外国人留学生及び帰国子女に関する規程は別に定める。

第11節 入学検定料、入学金、授業料及びその他の諸納入金

(入学検定料等の納入)

第70条 学生は、本学所定の入学検定料、入学金、授業料、施設設備費及び教育研究料（以下「入学検定料等」という。）並びにその他の納入金を所定の期日までに納入しなければならない。

(入学検定料等及びその他の納入金の額)

第71条 入学検定料等の額は、別表第9のとおりとする。

2 その他の納入金の額は、別に定める。

(授業料の納期等)

第72条 授業料は、第11条第1項に規定する学期に応じ、それぞれ年額の2分の1に相当する額を、次に掲げる納期までに納入するものとする。

前学期分 納期4月20日まで

後学期分 納期9月30日まで

2 前項の規定にかかわらず、前学期分の授業料の納期までに、当該年度の後学期分に係る授業料を併せて納入することができる。

3 入学検定料及び入学金並びにその他の納入金の納期は、別に定める。

4 施設設備費及び教育研究料は、授業料の前学期分の納期までに納入するものとする。

5 第1項及び前項の規定にかかわらず、特別の事情があると認められる者は、申出により、授業料、施設設備費及び教育研究料（以下「授業料等」という。）並びに入学金の分納又は延納を認めることがある。

(退学、除籍及び停学期間の授業料等)

第73条 学期の途中で退学（懲戒による退学を含む。）し、又は除籍された者の当該学期分の授業料並びに当該年度分の施設設備費及び教育研究料は徴収する。

2 停学期間中の授業料等は徴収する。

(休学期間の授業料等)

第74条 休学期間中の授業料、施設設備費及び教育研究料は、免除する。

(卒業延期者の授業料等)

第75条 卒業を延期する学生は、延期する学期分の授業料並びに当該年度分の施設設備費及び教育研究料を納入するものとする。

(研究生、科目等履修生等の授業料等)

第76条 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生及び帰国子女の入学検定料等及びその他の納入金については別に定める。

(納入した授業料等)

第77条 納入した入学検定料等は、原則として返還しない。

第12節 公開講座

(公開講座)

第78条 学校教育法第107条により公開講座を開設することができる。

附 則

1. この学則は昭和25年4月1日から施行する。(大学設置)

2. この学則は昭和38年4月1日から施行する。(史学科設置)

3. この学則は昭和48年4月1日から施行する。(美学美術史学科設置)

4. この学則は昭和53年4月1日から施行する。ただし、第38条は昭和53年度入学生から適用する。(5～6省略)

7. この学則は昭和56年4月1日から施行する。ただし、第38条は昭和56年度入学生から適用する。

8. この学則は昭和57年4月1日から施行する。ただし、第38条は昭和57年度入学生から適用する。

9. この学則は昭和58年4月1日から施行する。ただし、第38条は昭和58年度入学生から適用する。

10. この学則は昭和59年4月1日から施行する。ただし、第38条は昭和59年度入学生から適用する。

11. この学則は昭和59年12月22日から施行する。

ただし、①第16条第2項は昭和59年度入学生から適用する。

②第38条は昭和60年度入学生から適用する。

12. この学則は昭和61年4月1日から施行する。ただし、第38条は昭和61年度入学生

- から適用する。
13. この学則は昭和62年4月1日から施行する。ただし、第51条は昭和62年度入学生から適用する。
 14. この学則は昭和63年4月1日から施行する。ただし、第51条は昭和63年度入学生から適用する。
 15. この学則は平成元年4月1日から施行する。(別科日本語課程設置)。ただし、第60条は平成元年度入学生から適用する。

附 則

1. この学則は平成2年4月1日から施行する。ただし、第64条は平成2年度入学生から適用する。
2. 第3条の規定にかかわらず、平成2年度から平成10年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学 科 名	入 学 定 員
英文学科	50
美学美術史学科	40

附 則

1. この学則は平成3年4月1日から施行する。ただし、第24条第3項(別表第1)、第26条第2項(別表第2、第3)及び第42条については、平成2年度入学生から適用する。又、第64条は平成3年度入学生から適用する。
2. 第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成10年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学 科 名	入 学 定 員
史学科	120

附 則

1. この学則は平成4年4月1日から施行する。ただし、第41条については、平成3年9月18日から適用する。

附 則

1. この学則は平成4年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は平成5年4月1日から施行する。(別科収容定員増)

附 則

1. この学則は平成5年4月1日から施行する。ただし、第62条(課程の修了等)、第63条(入学検定料等の諸納入金)、第70条(授業料等)、第71条(検定料、入学金その他の納入金)については、平成5年度入学生から適用し、平成4年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

1. この学則は平成6年4月1日から施行する。ただし、第63条(課程の修了等)、第64条(入学検定料等の諸納入金)、第71条(授業料等)、第72条(検定料、入学金その他の納入金)については、平成6年度入学生から適用し、平成5年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

1. この学則の第55条については平成6年9月1日から適用する。

附 則

1. この学則は平成7年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は平成8年4月1日から施行する。
2. 入学定員、収容定員については、第4条の規定にかかわらず平成8年度から平成10年度までは、次のとおりとする。

学 科	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員
国文学科	50	10	220
英文学科	50	10	220
史学科	120	10	500
美学美術史学科	40	10	180

附 則

1. この学則は平成9年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は平成10年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は平成11年4月1日から施行する。
2. 入学定員、収容定員については、第3条の規定にかかわらず平成11年度は、次のとおりとする。

学 科	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員
国文学科	80	20	360
英文学科	50	10	220
史学科	120	10	500
美学美術史学科	40	10	180

附 則

1. この学則は平成12年4月1日から施行する。
ただし、別府大学文学部美学美術史学科は、改正後の学則第3条第1項の規定にかかわらず、平成12年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
2. 平成12年度から平成16年度までの入学定員及び平成12年度から平成18年度までの収容定員については、第4条の規定にかかわらず次のとおりとする。

(入学定員)

学 科	年 度				
	12	13	14	15	16
国文学科	80	80	80	80	80
英文学科	48	46	44	42	40
史学科	128	126	124	122	120
芸術文化学科	70	70	70	70	70
文化財学科	100	100	100	100	100

(収容定員)

学 科	年 度							
	12	13	14	15	16	17	18	
国文学科	300	330	360	360	360	360	360	
英文学科	218	214	208	200	192	186	182	
史学科	508	514	518	520	512	506	502	
芸術文化学科	210	240	270	300	300	300	300	
文化財学科	420	420	420	420	420	420	420	

附 則

1. この学則は平成13年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は平成14年4月1日から施行する。ただし、第47条第1項第3号は、厚生労働大臣の指定の日（平成15年2月24日）から適用する。

附 則

1. この学則は平成15年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第18条第1項第6号は、平成15年12月16日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成19年4月1日から施行する。
(講師に関する経過規定)
第8条、第9条の規定にかかわらず、現に講師の職務にある者が在職するまでの間、職としての講師を置くものとする。

附 則

1. この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成21年4月1日から施行する。ただし、平成21年3月31日に在学する者には改正前の学則を適用する。
2. 国文学科、英文学科、史学科、芸術文化学科及び文化財学科は、改正後の学則第3条第1項の規定にかかわらず、平成21年3月31日に当該学科に在学する者が卒業するまで存続し、卒業を待って廃止する。

附 則

1. この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成26年4月1日から施行する。ただし、この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。

附 則

1. この学則は、平成27年4月1日から施行する。ただし、別表については、この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。

附 則

1. この学則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、別表については、この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。

附 則

1. この学則は、平成28年4月1日から施行する。

2. 別表については、この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。ただし、教養科目群の学際科目については、学則の施行日前に在籍する者が新たに履修する場合は、改正後の別表を適用する。

附 則

1. この学則は、平成29年4月1日から施行する。
2. この学則の施行日前に在籍する者は、なお従前の例による。ただし、第74条（休学期間中の授業料等）及び別表1の教養科目群の学際科目については、学則の施行日前に在籍する者にも適用する。

別表第1 (学則第26条第6項)

I 文学部

1. 教養科目群

科目区分	授業科目の名称	単位数			備考		
		必修	選択	自由			
基礎ゼミ	導入演習 (国際言語・文化)		1		1単位選択必修		
	導入演習 (史学・文化財)		1				
	導入演習 (人間関係)		1				
	基礎演習 (国際言語・文化)		1			1単位選択必修	
	基礎演習 (史学・文化財)		1				
	基礎演習 (人間関係)		1				
学際科目	大学史と別府大学		2		文学部卒業要件単位数124単位以上 1. 教養科目群から40単位以上 基礎ゼミ: 2単位以上 コア1・2: 各4単位以上 コア3・4: 各2単位以上 コア5: 6単位以上を含む。 2. 専門科目群から60単位以上 卒業論文(6単位)又は卒業制作		
	温泉学概論		2				
	キャリア教育 I		2				
	キャリア教育 II		2				
	インターンシップ I		1				
	インターンシップ II		2				
	市民生活とアーカイブズ		2				
	NPO論		2				
	トップマネジメント講話		2				
	手話		2				
	世界農業遺産体験学習		4				
	九州学		2				
	地域社会フィールドワーク演習		2				
	汎領域研究 1 (単位互換)		1				
	汎領域研究 2 (単位互換)		1				
	汎領域研究 3 (単位互換)		1				
	汎領域研究 4 (単位互換)		1				
	コア1 人間と文化の探求	文学		2			4単位以上
		哲学		2			
		倫理学		2			
生命倫理学			2				
心理学 I			2				
心理学 II			2				
日本文化史			2				
世界文化史			2				
科学史			2				
体育実技 I			1				
体育実技 II			1				
スポーツと健康			2				
コア2 現代社会の多面的理解		法学(日本国憲法)		2		4単位以上	
		法律学		2			
	行政法		2				
	経済学		2				
	社会学		2				
	歴史学		2				
	地域福祉論		2				
	社会調査法		2				
	社会思想史		2				
	政治学		2				
	マスコミ論		2				
	国際文化論		2				
	国際関係論		2				
	地域環境論		2				
	情報文化論		2				
	コア3 自然環境の理解	生物学		2			2単位以上
数学基礎			2				
化学基礎			2				
科学技術論			2				
科学と社会			2				
コア4 知識・情報処理能力	情報リテラシー I		2		2単位以上		
	情報リテラシー II		2				
	論理学		2				
	統計学		2				

科目区分	授業科目の名称	単位数			備考
		必修	選択	自由	
コア5 外国語科目	英語1		1		6単位以上
	英語2		1		
	英語3		1		
	英語4		1		
	英語5		1		
	英語6		1		
	英会話基礎1		1		
	英会話基礎2		1		
	TOEIC1		1		
	TOEIC2		1		
	TOEIC3		1		
	TOEIC4		1		
	TOEIC5		1		
	TOEIC6		1		
	TOEIC7		1		
	TOEIC8		1		
	英語ステップアップ演習1		1		
	英語ステップアップ演習2		1		
	ドイツ語基礎1		1		
	ドイツ語基礎2		1		
	ドイツ語コミュニケーション1		1		
	ドイツ語コミュニケーション2		1		
	フランス語基礎1		1		
	フランス語基礎2		1		
	フランス語コミュニケーション1		1		
	フランス語コミュニケーション2		1		
	中国語基礎1		1		
	中国語基礎2		1		
	中国語コミュニケーション1		1		
	中国語コミュニケーション2		1		
韓国語基礎1		1			
韓国語基礎2		1			
韓国語コミュニケーション1		1			
韓国語コミュニケーション2		1			
外書講読	外書講読1		1		
	外書講読2		1		
	外書講読3		1		
	外書講読4		1		

2. 外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目

	授業科目の名称	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
日本語	上級日本語聴解1		2		外国人・帰国子女はこのうち20単位までを教養科目群の単位に替えることができる。	
	上級日本語聴解2		2			
	上級日本語文字・語彙1		2			
	上級日本語文字・語彙2		2			
	上級日本語文法1		1			
	上級日本語文法2		1			
	上級日本語読解1		2			
	上級日本語読解2		2			
	日本語アカデミックリーディング1		2			} 2単位以上
	日本語アカデミックリーディング2		2			
	日本語アカデミックプレゼンテーション1		2			} 2単位以上
	日本語アカデミックプレゼンテーション2		2			
	日本語アカデミックライティング1		2			} 2単位以上
	日本語アカデミックライティング2		2			
	日本語アカデミックライティング3		1			} 1単位以上
	日本語アカデミックライティング4		1			
	日本語アカデミックスキル1		1			} 1単位以上
	日本語アカデミックスキル2		1			

3. 文学部専門科目群

1) 文学部共通専門科目

区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
人文系	国文学概論		2		専門科目の卒業要件単位数 国際言語・文化学科 60単位以上 史学・文化財学科 60単位以上 人間関係学科 60単位以上 (それぞれの学科における専門科目の履修は、文学部共通専門科目及びそれぞれの学科の専門科目から60単位以上修得するものとする。)
	言語学概論		2		
	言語習得概論		2		
	書道概論 1		2		
	書道概論 2		2		
	漢字かな交じり書(書写を含む)		1		
	楷書(書写を含む)		1		
	行書(書写を含む)		1		
	英米文学概論		2		
	英会話 1		1		
	英会話 2		1		
	英文法 1		2		
	英文法 2		2		
	美術史概論		2		
	芸能文化論		2		
	日本史概論 1		2		
	日本史概論 2		2		
	世界史概論 1 (西洋史)		2		
	世界史概論 2 (東洋史)		2		
	考古学概論		2		
	文化財科学概論		2		
	世界遺産学概論		2		
	比較文化研究		2		
	国際文化複合演習 1		1		
	国際文化複合演習 2		1		
	世界遺産研究 (国外)		2		
	世界遺産研究 (国内)		2		
	異文化共有論		2		
	図書館概論		2		
	図書館サービス概論		2		
	情報サービス論		2		
	児童サービス論		2		
	博物館概論		2		
博物館教育論		2			
博物館情報・メディア論		2			
デジタルアーカイブズ		2			
社会科学系	地理学概論		2		
	文化人類学		2		
	民俗学概論		2		
	環境歴史学概論		2		
	地方自治論		2		
	生涯学習論 I		2		
	生涯学習論 II		2		
	地方行政論		2		
	まちづくり特論		2		
	芸術系	デッサン I		2	
マンガ概論			2		
アニメーション概論			2		
芸術総合基礎 I			2		
芸術総合基礎 II			2		
芸術総合基礎 III			2		

区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
	芸術総合基礎Ⅳ		2			
	総合芸術Ⅰ		2			
	総合芸術Ⅱ		2			
	アートマネジメント		2			
日本語系	ビジネス日本語（聴読解） 1		1			
	ビジネス日本語（聴読解） 2		1			
	ビジネス日本語（リーディング） 1		1			
	ビジネス日本語（リーディング） 2		1			
	ビジネス日本語（ライティング） 1		1			
	ビジネス日本語（ライティング） 2		1			
	ビジネス日本語（コミュニケーション） 1		1			
	ビジネス日本語（コミュニケーション） 2		1			
	ビジネス日本語（経済と社会） 1		1			
	ビジネス日本語（経済と社会） 2		1			
	総合系	教育実践Ⅰ		1		
		教育実践Ⅱ		1		
総合ゼミⅠ			1			
総合ゼミⅡ			1			

2) 国際言語・文化学科専門科目

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
演習科目	発展演習	発展演習 1 (国際言語・文化)	1		
		発展演習 2 (国際言語・文化)	1		
	専門演習	専門演習 1 (英語・英米文学)		1	} 1 単位選択必修
		専門演習 1 (日本語・日本文学)		1	
		専門演習 1 (国際文化)		1	
		専門演習 1 (書道)		1	
		専門演習 1 (絵画)		1	
		専門演習 1 (マンガ・アニメ)		1	
		専門演習 1 (デザイン)		1	
		専門演習 2 (英語・英米文学)		1	
		専門演習 2 (日本語・日本文学)		1	
		専門演習 2 (国際文化)		1	
	卒業演習	卒業演習 1 (英語・英米文学)		1	} 1 単位選択必修
		卒業演習 1 (日本語・日本文学)		1	
		卒業演習 1 (国際文化)		1	
		卒業演習 1 (書道)		1	
		卒業演習 1 (絵画)		1	
		卒業演習 1 (マンガ・アニメ)		1	
	卒業演習	卒業演習 2 (英語・英米文学)		1	} 1 単位選択必修
		卒業演習 2 (日本語・日本文学)		1	
卒業演習 2 (国際文化)			1		
卒業演習 2 (書道)			1		
卒業演習 2 (絵画)			1		
卒業演習 2 (マンガ・アニメ)			1		
卒業演習 2 (デザイン)			1		
卒業演習 2 (デザイン)			1		
専門基礎科目	日本文学史		2		
	日本文学講義 1 (古典と近現代 1)		2		
	日本文学講義 2 (古典)		2		
	日本文学講義 3 (近現代 1)		2		
	日本文学講義 4 (近現代 2)		2		
	日本文学講義 5 (古典と近現代 2)		2		
	日本文学講義 6 (比較文学)		2		
	漢文学概論		2		
	日本語学講義 1 (音声言語を含む)		2		
	日本語学講義 2 (日本語の語彙)		2		
	日本語学講義 3 (現代日本語文法)		2		
	日本語学講義 4 (古代日本語の歴史)		2		
	日本語学講義 5 (近代日本語の歴史)		2		
	日本語教育概論 1		2		
	日本語教育概論 2		2		
	日本語教育教材論		2		
	日本語教育キャリア形成論		2		
	書の古典及び鑑賞学		2		
	英文法 3		2		
	英文学史		2		
	米文学史		2		
	英米文学講読 I		2		
	英米文学作品研究 I		2		
	英米文学作品研究 II		2		
	英米文学特殊研究 I		2		
	日英比較文化論 1		2		
	アメリカンスタディーズ I		2		

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
学科専門科目	国際文化論 2 (言語・文学・芸能)		2		
	超域文化論 1 (日本古典文化)		2		
	超域文化論 2 (ヨーロッパ文化)		2		
	超域文化論 3 (温泉学)		2		
	複合文化論 1 (文化と民族)		2		
	複合文化論 2 (比較映画論)		2		
	複合社会論 (宗教と思想)		2		
	EU文化論 1 (文化の多様性)		2		
	国際文化特論 1 (言語と文化)		2		
	芸術文化論		2		
	芸術学概論		2		
	芸術学講読		2		
	日本美術史概論		2		
	東洋美術史概論		2		
	西洋美術史概論		2		
	美術史特講 I		2		
	美術史特講 II		2		
	絵画基礎 I		2		
	絵画基礎 II		2		
	絵画基礎 III		2		
	絵画基礎 IV		2		
	絵画表現		2		
	基礎デザイン		2		
	デザイン概論		2		
	デッサン II		2		
	デッサン III		2		
	デッサン IV		2		
	彫塑 I		1		
	工芸 I		2		
	造形演習 I		2		
	造形演習 II		2		
	マンガ基礎技術 I		2		
	マンガ基礎技術 II		2		
	マンガ基礎技術 III		2		
	マンガ基礎 I		2		
	マンガ基礎 II		2		
	アニメーション基礎技術 I		2		
	アニメーション基礎技術 II		2		
	アニメーション基礎技術 III		2		
	アニメーション基礎 I		2		
	アニメーション基礎 II		2		
	作品・作家研究 I		2		
	視覚芸術論		2		
	デザイン基礎実習		2		
	デザイン実習 I		2		
	デザイン実習 II		2		
	デザイン演習 I		2		
デザイン演習 II		2			
特別講義 I		2			
特別講義 II		2			
美術ゼミ I		2			
美術ゼミ II		2			
英語・英米文学	英作文 1		1		
	英作文 2		1		
	英作文 3		1		
	英作文 4		1		
	英会話 3		1		
	英会話 4		1		
	英会話 5		1		
	英会話 6		1		

科目区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
コース専門科目	英語学概論		2			
	英語音声学		2			
	英語学特講		2			
	英語学特殊研究		2			
	英語学演習 1		1			
	英語学演習 2		1			
	英語学演習 3		1			
	英語学演習 4		1			
	英文法 4		2			
	英米文学作品研究Ⅲ		2			
	英米文学講読Ⅱ		2			
	英米文学特殊研究Ⅱ		2			
	英米文学特殊研究Ⅲ		2			
	英米文学特殊研究Ⅳ		2			
	日英比較文化論 2		2			
	アメリカンスタディーズⅡ		2			
	ブリティッシュスタディーズⅠ		2			
	ブリティッシュスタディーズⅡ		2			
	日本語・日本文学	日本文学研究 1 (古典と近現代 1)		2		
		日本文学研究 2 (古典と近現代 2)		2		
		日本文学研究 3 (古典と近現代 3)		2		
		日本文学研究 4 (近現代 1)		2		
		日本文学研究 5 (近現代 2)		2		
		日本文学研究 6 (近現代 3)		2		
		日本文学研究 7 (近現代 4)		2		
		日本文学研究 8 (大分県の文学)		2		
		日本文学研究 9 (世界の中の日本文学)		2		
		漢文学特論 1		2		
		漢文学特論 2		2		
		日本語学研究 1 (現代日本語文法)		2		
		日本語学研究 2 (日本語の方言)		2		
		日本語学研究 3 (日本語のバリエーション)		2		
		日本語学研究 4 (日本語の表記)		2		
		日本語学研究 5 (日本語の文体)		2		
		国際文化	映像文化論		2	
超域文化論 4 (古典文学と文化)				2		
超域文化論 5 (奈良文化の国際性)			2			
超域文化論 6 (日本の映画監督)			2			
超域文化論 7 (独逸文化)			2			
超域社会論 (近代の社会思想)			2			
複合文化論 3 (翻訳文学)			2			
複合文化論 4 (ジャポニスム)			2			
複合文化論 5 (古典文学と美術)			2			
複合文化論 6 (文化の海外流出)			2			
複合文化論 7 (民俗芸能)			2			
EU文化論 2 (英国文化)			2			
国際文化特論 1 (言語と文化)			2			
国際文化特論 2 (人類の遺産)			2			
超域複合文化特論 1 (伝統文化と国際化)			2			
超域複合文化特論 2 (思想と文化)			2			
複合文化演習 1			1			
複合文化演習 2			1			
芸術	絵画実習Ⅰ			2		
	絵画実習Ⅱ			2		
	絵画実習Ⅲ		2			
	絵画実習Ⅳ		2			
	絵画実習Ⅴ		2			
	絵画実習Ⅵ		2			
	絵画実習Ⅶ		2			
	絵画専門実習Ⅰ		2			

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
コース専門科目	絵画専門実習Ⅱ		2		
	かな(書写を含む)		1		
	隷書(書写を含む)		1		
	書道史Ⅰ		2		
	書道史Ⅱ		2		
	古代漢語		2		
	草書(書写を含む)		1		
	篆書(書写を含む)		1		
	篆刻(書写を含む)		1		
	創作研究Ⅰ		1		
	創作研究Ⅱ		1		
	書論Ⅰ		2		
	書論Ⅱ		2		
	映像文化演習Ⅰ		1		
	映像文化演習Ⅱ		1		
	作品批評Ⅰ		2		
	作品批評Ⅱ		2		
	CG演習Ⅰ		2		
	CG演習Ⅱ		2		
	CG演習Ⅲ		2		
	マンガ演習Ⅰ		2		
	マンガ演習Ⅱ		2		
	アニメーション演習Ⅰ		2		
	アニメーション演習Ⅱ		2		
	作品・作家研究Ⅱ		2		
	脚本研究Ⅰ		2		
	脚本研究Ⅱ		2		
	脚本演習Ⅰ		2		
	脚本演習Ⅱ		2		
	制作演習Ⅰ		2		
	制作演習Ⅱ		2		
	編集演習Ⅰ		2		
	編集演習Ⅱ		2		
	デザイン実習Ⅲ		2		
デザイン実習Ⅳ		2			
デザイン演習Ⅲ		2			
デザイン演習Ⅳ		2			
画像計画		2			
空間構成		2			
色彩構成		2			
ビジュアルデザイン		2			
	卒業論文		6		} 1科目選択必修
	卒業制作		6		
	卒業研究		4		

3) 史学・文化財学科専門科目

科目区分	授業科目	単位数			備考		
		必修	選択	自由			
演習科目	発展演習	発展演習 1 (史学・文化財学)	1		1 単位選択必修		
		発展演習 2 (史学・文化財学)	1				
	専門演習	専門演習 1 (環境歴史学)		1			
		専門演習 1 (民俗学)		1			
		専門演習 1 (観光地理学)		1			
		専門演習 1 (美術工芸)		1			
		専門演習 1 (旧石器・縄文考古学)		1			
		専門演習 1 (弥生・古墳考古学)		1			
		専門演習 1 (歴史考古学)		1			
		専門演習 1 (分析科学)		1			
		専門演習 1 (保存修復学)		1			
		専門演習 1 (東洋史)		1			
		専門演習 1 (アジア史)		1			
		専門演習 1 (西洋史)		1			
		専門演習 1 (文明史)		1			
		専門演習 1 (古代・中世史)		1			
		専門演習 1 (近世史)		1			
		専門演習 1 (近現代史 1)		1			
		専門演習 1 (近現代史 2)		1			
		専門演習 2 (環境歴史学)		1			
		専門演習 2 (民俗学)		1			
		専門演習 2 (観光地理学)		1			
		専門演習 2 (美術工芸)		1			
		専門演習 2 (旧石器・縄文考古学)		1			
		専門演習 2 (弥生・古墳考古学)		1			
		専門演習 2 (歴史考古学)		1			
		専門演習 2 (分析科学)		1			
		専門演習 2 (保存修復学)		1			
		専門演習 2 (東洋史)		1			
		専門演習 2 (アジア史)		1			
		専門演習 2 (西洋史)		1			
		専門演習 2 (文明史)		1			
	専門演習 2 (古代・中世史)		1				
	専門演習 2 (近世史)		1				
	専門演習 2 (近現代史 1)		1				
	専門演習 2 (近現代史 2)		1				
	卒業演習	卒業演習 1	卒業演習 1 (環境歴史学・文化遺産学)			1	1 単位選択必修
			卒業演習 1 (考古学・文化財科学)			1	
			卒業演習 1 (東洋史)			1	
			卒業演習 1 (アジア史)			1	
			卒業演習 1 (西洋史)			1	
			卒業演習 1 (文明史)			1	
卒業演習 1 (古代・中世史)				1			
卒業演習 1 (近世史)				1			
卒業演習 2		卒業演習 1 (近現代史 1)		1			
		卒業演習 1 (近現代史 2)		1			
		卒業演習 2 (環境歴史学・文化遺産学)		1			
		卒業演習 2 (考古学・文化財科学)		1			
		卒業演習 2 (東洋史)		1			
		卒業演習 2 (アジア史)		1			
		卒業演習 2 (西洋史)		1			
		卒業演習 2 (文明史)		1			
卒業演習 2 (古代・中世史)		1	1 単位選択必修				

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
	卒業演習 2 (近世史)		1		
	卒業演習 2 (近現代史 1)		1		
	卒業演習 2 (近現代史 2)		1		
専門基礎科目	アーカイブズ論 I		2		
	アーカイブズ論 II		2		
	アーカイブズ管理論		2		
	レコードマネジメント論		2		
	日本史講義 1 (古代史料論)		2		
	日本史講義 2 (中世史料論)		2		
	日本史講義 3 (近世史料論)		2		
	日本史講義 4 (近現代史料論)		2		
	世界史講義 1 (東洋史)		2		
	世界史講義 2 (アジア史)		2		
	世界史講義 3 (西洋史)		2		
	世界史講義 4 (文明史)		2		
	考古学講義 1 (先史考古資料論)		2		
	考古学講義 2 (歴史考古資料論)		2		
	考古学講義 3 (埋蔵文化財学)		2		
	文化財科学講義 1 (保存環境論)		2		
	文化財科学講義 2 (保存修復)		2		
	環境歴史学講義 1 (環境歴史論)		2		
	環境歴史学講義 2 (環境歴史地理論)		2		
	文化遺産学講義 1 (民俗資料論)		2		
	文化遺産学講義 2 (石造文化財資料論)		2		
	史学概論		2		
	歴史地理		2		
	法制史		2		
	国際交渉論		2		
	宗教史		2		
	美術工芸論		2		
	人類学総論		2		
	文化財保護論		2		
	環境史		2		
	人類学特講		2		
	世界遺産学特論		2		
	環境植生論		2		
環境考古学		2			
地誌学		2			
博物館実習		1			
博物館資料論		2			
博物館経営論		2			
環境歴史学・文化遺産学	民俗学特講		2		
	観光地理学特講		2		
	環境歴史学特講 1		2		
	環境歴史学特講 2		2		
	環境歴史学・文化遺産学実習 I (村落遺跡調査法)		1		
	環境歴史学・文化遺産学実習 II (民俗学調査法)		1		
	環境歴史学・文化遺産学実習 III (観光地理学調査法)		1		
	環境歴史学・文化遺産学実習 III (伝統的修復法)		1		
考古学・文化財科学	考古学特講 1 (旧石器・縄文考古学)		2		
	考古学特講 2 (弥生・古墳考古学)		2		
	考古学特講 3 (歴史考古学)		2		
	文化財科学特講 1 (科学分析)		2		
	文化財科学特講 2 (保存修復)		2		
	考古学実習 I (調査整理法)		1		

科目区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
コース 専門 科目	考古学実習Ⅱ(調査整理法)		1			
	文化財科学実習Ⅰ(機器分析)		1			
	文化財科学実習Ⅱ(修復)		1			
	埋蔵文化財実習Ⅰ(遺跡発掘)		1			
	埋蔵文化財実習Ⅱ(遺跡発掘)		1			
	埋蔵文化財実習Ⅲ(インターンシップ)		1			
	文化財科学実習Ⅲ(インターンシップ)		1			
	世界史	世界史特講Ⅰ(東洋史)		2		
		世界史特講Ⅱ(アジア史)		2		
		世界史特講Ⅲ(西洋史)		2		
		世界史特講Ⅳ(文明史)		2		
	日本史・ アーカイブズ	日本史特講Ⅰ(古代史)		2		
		日本史特講Ⅱ(中世史)		2		
		日本史特講Ⅲ(近世史)		2		
		日本史特講Ⅳ(近現代史)		2		
		アーカイブズ実習Ⅰ		1		
		アーカイブズ実習Ⅱ		1		
		卒業論文		6		} 1科目選択必修
		卒業研究		4		

4) 人間関係学科専門科目

科目区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
演習科目	発展演習	発展演習 1 (人間関係)	1		専門科目 卒業要件単位数 60単位以上	
		発展演習 2 (人間関係)	1			
	専門演習	専門演習 1 (社会福祉)		1		} 1単位選択必修
		専門演習 1 (心理)		1		
		専門演習 1 (教育・生涯スポーツ)		1		
		専門演習 2 (社会福祉)		1		} 1単位選択必修
		専門演習 2 (心理)		1		
		専門演習 2 (教育・生涯スポーツ)		1		
	卒業演習	卒業演習 1 (社会福祉)		1		} 1単位選択必修
		卒業演習 1 (心理)		1		
		卒業演習 1 (教育・生涯スポーツ)		1		
		卒業演習 2 (社会福祉)		1		} 1単位選択必修
		卒業演習 2 (心理)		1		
		卒業演習 2 (教育・生涯スポーツ)		1		
学科専門科目	専門基礎科目	社会理論と社会システム		2		
		心理学理論と心理的支援		2		
		現代社会と福祉 I		2		
		現代社会と福祉 II		2		
		相談援助の基盤と専門職 I		2		
		相談援助の基盤と専門職 II		2		
		生理心理学 I		2		
		生理心理学 II		2		
		精神保健の課題と支援 I		2		
		精神保健の課題と支援 II		2		
		人体の構造と機能及び疾病		2		
		カウンセリング概論		2		
		社会心理学		2		
		産業心理学		2		
		比較行動学		2		
		精神生理学		2		
		レクリエーション指導法		2		
		福祉サービスの組織と経営		2		
		高齢者に対する支援と介護保険制度 I		2		
		高齢者に対する支援と介護保険制度 II		2		
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度		2		
		就労支援サービス		2		
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度		2		
		更生保護制度		2		
		低所得者に対する支援と生活保護制度		2		
		地域福祉の理論と方法 I		2		
		地域福祉の理論と方法 II		2		
		権利擁護と成年後見制度		2		
		相談援助の理論と方法 I		2		
		相談援助の理論と方法 II		2		
		保健医療サービス		2		
		福祉行財政と福祉計画 I		2		
		福祉行財政と福祉計画 II		2		
		精神保健福祉に関する制度とサービス I		2		
精神保健福祉に関する制度とサービス II		2				
精神障害者の生活支援システム		2				
精神保健福祉援助技術総論		2				
精神疾患とその治療 I		2				
精神疾患とその治療 II		2				
社会保障 I		2				
社会保障 II		2				
地域研究 I		2				

科目区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
	地域研究Ⅱ		2			
	社会調査の基礎		2			
	行動療法論		2			
社会福祉分野	相談援助の理論と方法Ⅲ		2			
	相談援助の理論と方法Ⅳ		2			
	相談援助演習Ⅰ		1			
	相談援助演習Ⅱ		1			
	相談援助演習Ⅲ		1			
	相談援助演習Ⅳ		1			
	相談援助演習Ⅴ		1			
	相談援助実習Ⅰ		1			
	相談援助実習Ⅱ		3			
	相談援助実習指導Ⅰ		2			
	相談援助実習指導Ⅱ		2			
	相談援助実習指導Ⅲ		2			
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ		2			
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ		2			
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ		2			
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ		2			
	精神保健福祉援助演習Ⅰ		1			
	精神保健福祉援助演習Ⅱ		1			
	精神保健福祉援助演習Ⅲ		1			
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		1			
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		1			
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		1			
	精神保健福祉援助実習Ⅰ		3			
	精神保健福祉援助実習Ⅱ		2			
	福祉特別演習Ⅰ		1			
	福祉特別演習Ⅱ		1			
	福祉特別演習Ⅲ		1			
	精神保健福祉特別演習Ⅱ		1			
	精神保健福祉特別演習Ⅲ		1			
	心理分野	心理学研究法Ⅰ		2		
		心理学研究法Ⅱ		2		
		認知心理学Ⅰ		2		
		認知心理学Ⅱ		2		
発達心理学Ⅰ			2			
発達心理学Ⅱ			2			
心理学実験演習Ⅰ			2			
心理学実験演習Ⅱ			2			
臨床心理学			2			
心理療法論			2			
心理測定法			2			
心理検査法			2			
カウンセリング演習			1			
教育・生涯スポーツ分野		スポーツ社会学		2		
	スポーツ教育学		2			
	コーチング論		2			
	トレーニング論		2			
	教育調査論		2			
	介護概論		2			
	教育学		2			
	地域教育論		2			
	教育学方法論		2			
	教育制度論		2			
卒業論文		6				

II 食物栄養科学部

1. 教養科目群

1) 食物栄養学科

授 業 科 目	単位数			備 考
	必修	選択	自由	
基礎ゼミ	導入演習 (食物栄養)	1		卒業要件単位数 124単位以上 (教養科目から24単位以上、専門科目から84単位以上、教養科目及び専門科目から16単位以上)
	基礎演習 (食物栄養)	1		
学際科目	大学史と別府大学		2	
	温泉学概論		2	
	キャリア教育 I		2	
	キャリア教育 II		2	
	インターンシップ I		1	
	インターンシップ II		2	
	市民生活とアーカイブズ		2	
	NPO論		2	
	トップマネジメント講話		2	
	手話		2	
	世界農業遺産体験学習		4	
	九州学		2	
	地域社会フィールドワーク演習		2	
	汎領域研究 1 (単位互換)		1	
	汎領域研究 2 (単位互換)		1	
	汎領域研究 3 (単位互換)		1	
汎領域研究 4 (単位互換)		1		
英 語	総合英語 I	1		
	総合英語 II		1	
	総合英語 III		1	
	総合英語 IV		1	
	英語コミュニケーション I	1		
	英語コミュニケーション II		1	
人間の探求	文学 I		2	
	文学 II		2	
	歴史学		2	
	職業の倫理学		2	
	哲学における人間と世界		2	
	世界文化史－文化としての科学－		2	
	児童サービス論		2	
現代社会の理解	社会心理学		2	
	法学(日本国憲法)		2	
	社会学		2	
	生涯学習概論		2	
	図書館概論		2	
	図書館サービス概論		2	
	科学と社会		2	
	社会生活概論		2	
科学技術と環境	科学技術論		2	
	自然人類学 I		2	
	自然人類学 II		2	
	細胞からみた生命		2	
	生命とコミュニケーション		2	
	科学史		2	
情報処理	情報科学リテラシー I		2	
	情報科学リテラシー II		2	
	情報サービス論		2	
運動と健康	体育実技 I		1	
	体育実技 II		1	
	スポーツと健康		2	
国際理解のための言語	フランス語 I		1	
	フランス語 II		1	
	中国語 I		1	
	中国語 II		1	
	韓国語 I		1	
	韓国語 II		1	

2) 発酵食品学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
基礎ゼミ	導入演習（発酵食品）	1		卒業要件単位数 124単位以上 (教養科目から24単位以上、専門 科目から84単位以上、教養科目 及び専門科目から16単位以上)
	基礎演習（発酵食品）	1		
学際科目	大学史と別府大学		2	
	温泉学概論		2	
	キャリア教育Ⅰ		2	
	キャリア教育Ⅱ		2	
	インターンシップⅠ		1	
	インターンシップⅡ		2	
	市民生活とアーカイブズ		2	
	NPO論		2	
	トップマネジメント講話		2	
	手話		2	
	世界農業遺産体験学習		4	
	九州学		2	
	地域社会フィールドワーク演習		2	
	汎領域研究1（単位互換）		1	
	汎領域研究2（単位互換）		1	
	汎領域研究3（単位互換）		1	
	汎領域研究4（単位互換）		1	
英語	総合英語Ⅰ	1		
	総合英語Ⅱ		1	
	総合英語Ⅲ		1	
	総合英語Ⅳ		1	
	英語コミュニケーションⅠ	1		
	英語コミュニケーションⅡ		1	
人間の探求	文学Ⅰ		2	
	文学Ⅱ		2	
	歴史学		2	
	職業の倫理学		2	
	哲学における人間と世界		2	
	界文化史ー文化としての科学ー		2	
	児童サービス論		2	
現代社会の理解	社会心理学		2	
	法学(日本国憲法)		2	
	社会学		2	
	生涯学習概論		2	
	図書館概論		2	
	図書館サービス概論		2	
	科学と社会		2	
	社会生活概論		2	
科学技術と環境	科学技術論		2	
	自然人類学Ⅰ		2	
	自然人類学Ⅱ		2	
	細胞からみた生命		2	
	生命とコミュニケーション		2	
	科学史		2	
情報処理	情報リテラシーⅠ		2	
	情報リテラシーⅡ		2	
	情報サービス論		2	
運動と健康	体育実技Ⅰ		1	
	体育実技Ⅱ		1	
	スポーツと健康		2	
国際理解のための言語	フランス語Ⅰ		1	
	フランス語Ⅱ		1	
	中国語Ⅰ		1	
	中国語Ⅱ		1	
	韓国語Ⅰ		1	
	韓国語Ⅱ		1	

2. 外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目

授業科目の名称	単位数			備考	
	必修	選択	自由		
日本語	上級日本語聴解 1		2	外国人・帰国子女はこのうち1 2単位までを教養科目群の単位 に替えることができる。	
	上級日本語聴解 2		2		
	上級日本語文字・語彙 1		2		
	上級日本語文字・語彙 2		2		
	上級日本語文法 1		1		
	上級日本語文法 2		1		
	上級日本語読解 1		2		
	上級日本語読解 2		2		
	日本語アカデミックリーディング 1		2		} 2単位以上
	日本語アカデミックリーディング 2		2		
	日本語アカデミックプレゼンテーション 1		2		} 2単位以上
	日本語アカデミックプレゼンテーション 2		2		
	日本語アカデミックライティング 1		2		} 2単位以上
	日本語アカデミックライティング 2		2		
	日本語アカデミックライティング 3		1		} 1単位以上
	日本語アカデミックライティング 4		1		
	日本語アカデミックスキル 1		1		} 1単位以上
	日本語アカデミックスキル 2		1		

3. 食物栄養科学部専門科目群

1) 食物栄養学科専門科目

授 業 科 目			単 位 数			備 考	
			必 修	選 択	自 由		
基礎スキル科目			統計学	2		卒業要件単位数 84単位以上	
			社会調査概論	2			
			一般化学	2			
			栄養情報処理	1			
			食生活論	1			
専 門 基 礎 分 野	社会・環境 と健康	地域・社会と人間	社会福祉論	2			
			社会福祉援助技術実習		1		
		健康増進・疾病 予防	健康管理概論		2		
			公衆衛生学Ⅰ	2			
	人体の構造 と機能及び 疾病の成り 立ち	人体の構造	解剖生理学	2			
			解剖生理学実験	1			
		細胞・器官と 機能	生化学Ⅰ	2			
			生化学Ⅱ		2		
			生化学実験	1			
		環境変化と人 体の機能	運動生理学	2			
			運動生理学実験		1		
		疾病の理解	医学概論・臨床医学入門	2			
		病因・病態と生 体防御	病態生理学	2			
			微生物学(生体防御を含む)		2		
	食 べ 物 と 健 康	食品成分の理 解と人間生活	食品学Ⅰ	2			
			食品学Ⅱ		2		
			食品学実験		1		
		食品の保蔵・ 加工・調理	食品加工学	2			
			食品加工学実習	1			
			調理学	2			
			基礎調理実習		1		
			調理実習	1			
			応用調理実習	1			
		食品の衛生・ 安全	調理学実験		1		
			食品衛生学	2			
			食品衛生学実験	1			
	専 門 分 野	基礎栄養学		基礎栄養学	2		
				基礎栄養学実験	1		
応用栄養学		応用栄養学Ⅰ	2				
		応用栄養学Ⅱ	2				
		応用栄養学Ⅲ		2			
		応用栄養学実習	1				
		実践栄養学実習	1				
栄養教育論		栄養教育論Ⅰ	2				
		栄養教育論Ⅱ		2			
		栄養カウンセリング論	2				
		栄養教育論実習	1				
		栄養カウンセリング実習	1				
臨床栄養学		臨床栄養学Ⅰ	2				
		臨床栄養学Ⅱ	2				
		臨床栄養学Ⅲ		2			
		臨床福祉介護論	2				
		臨床栄養学実習	1				
		臨床介護栄養実習	1				
公衆栄養学		公衆栄養学Ⅰ	2				
		公衆栄養学Ⅱ	2				

授 業 科 目		単 位 数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
		地域栄養活動演習		1	
		公衆栄養学実習	1		
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	2		
		給食経営管理論Ⅱ	2		
		給食経営管理実習	1		
	総合演習	実験・実習事前総合演習		1	
		総合栄養マネジメント演習Ⅰ	1		
		総合栄養マネジメント演習Ⅱ		1	
		総合栄養マネジメント演習Ⅲ		1	
	臨地実習	臨床栄養学臨地実習		2	
		公衆栄養学臨地実習		1	
		給食運営臨地実習	1		
	特別演習	管理栄養士演習Ⅰ		1	
		管理栄養士演習Ⅱ		1	
管理栄養士発展演習Ⅰ			1		
管理栄養士発展演習Ⅱ			1		
専門演習	実践専門演習Ⅰ	1			
	実践専門演習Ⅱ	1			
自由選択科目	フードスペシャリスト論		2		
	フードコーディネーター論		2		
	フードマーケティング論		2		
	比較食文化論		2		
	実践スポーツ栄養学		2		
	栄養生化学		2		
	健康増進論		2		
	医と食		1		
	食物アレルギーの栄養指導		1		
	病態栄養医学		2		
	地域健康支援演習		1		
	地域健康・運動指導実習		1		
	栄養教諭免許科目	学校栄養指導論Ⅰ		2	
		学校栄養指導論Ⅱ		2	
卒業論文			6		

2) 発酵食品学科専門科目

授 業 科 目		単 位 数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
基礎スキル科目		統計学	2		卒業要件単位数84単位以上
		社会調査概論	2		
		論文作成法	2		
専 門 基 礎 科 目	化学の基礎	基礎化学	2		
		分析化学	2		
		物理化学		2	
		有機化学	2		
		分析化学実験	1		
	バイオサイエンスの基礎	細胞生物学	2		
		食資源論		2	
		運動生理学		2	
		微生物学	2		
		生化学Ⅰ	2		
		生化学Ⅱ		2	
		分子生物学		2	
		生化学実験	1		
	バイオテクノロジーの基礎	微生物工学	2		
		微生物遺伝学		2	
		生命倫理学		2	
		細胞工学		2	
		微生物工学実験	1		
	食の基礎	食品学	2		
		食生活論		2	
		比較食文化論		2	
		食品化学	2		
		栄養化学	2		
		食品分析学		2	
		食品分析学実験	1		
		食品加工学		2	
		食品加工学実習		1	
	食の安全の基礎	医学概論	2		
		健康管理概論		2	
		保健栄養食品学		2	
		食品衛生学	2		
		公衆衛生学総論	2		
		公衆衛生学各論	2		
食品保蔵学		2			
食品衛生学実験		1			
専 門 科 目		発酵と食品	醸造微生物学	2	
	酵母学		2		
	発酵食品学		2		
	味噌・醤油製造学			2	
	酒類製造学			2	
	調味食品学		2		
	発酵食品製造実習		1		
	酒類生産学実験		1		
	バイオサイエンスと環境		環境微生物学	2	
		醸造環境学		2	
		資源環境科学総論		2	
	バイオテクノロジー	バイオテクノロジー論		2	
		微生物バイオテクノロジー論		2	
		生体機能分子学実験	1		
細胞工学実験		1			
発酵と社会	醸造・発酵産業論		2		

授 業 科 目		単位数			備 考	
		必 修	選 択	自 由		
専 門 科 目		醸造・発酵経営論		2		
		発酵食品開発学		2		
		知的財産所有論		2		
		食品関係法規	2			
		品質鑑定論	2			
	食と流通	会計の基礎		2		
		簿記Ⅰ		1		
		簿記Ⅱ		1		
		マーケティング論		2		
		地域経営論		2		
		食糧流通システム		2		
		経営学特別講義		2		
		農業経営		2		
		食品統計学		2		
		発酵食品加工実習		1		
		食品と香料	香料学概論	2		
			香料化学		2	
			食品香料学		2	
	官能評価学			2		
	香料分析学			2		
	香料機能学			2		
	食香料品製造実習			1		
	香料学実験		1			
	総合演習		バイオテクノロジー論演習Ⅰ		1	
		バイオテクノロジー論演習Ⅱ		1		
	臨地実習	臨地実習Ⅰ	3			
		臨地実習Ⅱ		3		
	関連科目	物理学		2		
		基礎地学		2		
		物理学実験		1		
		基礎地学実験		1		
		外書講読		2		
	卒業研究		4			
	卒業論文		6			

III 国際経営学部

1. 教養科目群

科目区分	授業科目の名称	単位数			備考		
		必修	選択	自由			
基礎ゼミ	導入演習 (国際経営)	1			国際経営学部 卒業要件単位数 124単位以上		
	基礎演習 (国際経営)	1					
学際科目	大学史と別府大学		2		1. 教養科目群から40単位以上 (基礎ゼミ科目; 2単位、 コア1・2; 各4単位以上、 コア3・4; 各2単位以上、 コア5; 6単位以上)		
	温泉学概論		2				
	キャリア教育 I		2				
	キャリア教育 II		2				
	インターンシップ I		1				
	インターンシップ II		2				
	市民生活とアーカイブズ		2				
	NPO論		2				
	トップマネジメント講話		2				
	手話		2				
	世界農業遺産体験学習		4				
	九州学		2				
	地域社会フィールドワーク演習		2				
	汎領域研究 1 (単位互換)		1				
	汎領域研究 2 (単位互換)		1				
	汎領域研究 3 (単位互換)		1				
	汎領域研究 4 (単位互換)		1				
コア 1 人間と文化の 探求	文学		2		4 単位以上		
	哲学		2				
	倫理学		2				
	生命倫理学		2				
	心理学 I		2				
	心理学 II		2				
	日本文化史		2				
	世界文化史		2				
	科学史		2				
	体育実技 I		1				
	体育実技 II		1				
	スポーツと健康		2				
	コア 2 現代社会の多 面的理解	法学(日本国憲法)		2			4 単位以上
		法律学		2			
行政法			2				
社会学			2				
歴史学			2				
地域福祉論			2				
社会調査法			2				
社会思想史			2				
政治学			2				
マスコミ論			2				
国際文化論			2				
国際関係論			2				
地域環境論			2				
情報文化論			2				
国際理解 I			2				
国際理解 II			2				
コア 3 自然環境の理 解	生物学		2		2 単位以上		
	数学基礎		2				
	化学基礎		2				
	科学技術論		2				
	科学と社会		2				
コア 4 知識・情報処 理能力	情報リテラシー I		2		2 単位以上		
	情報リテラシー II		2				
	論理学		2				
	統計学		2				

コア5 外国語科目	英語1		1	
	英語2		1	
	英語3		1	
	英語4		1	
	英語5		1	
	英語6		1	
	英会話基礎1		1	
	英会話基礎2		1	
	TOEIC1		1	
	TOEIC2		1	
	TOEIC3		1	
	TOEIC4		1	
	TOEIC5		1	
	TOEIC6		1	
	TOEIC7		1	
	TOEIC8		1	
	英語ステップアップ演習1		1	
	英語ステップアップ演習2		1	
	ドイツ語基礎1		1	
	ドイツ語基礎2		1	
	ドイツ語コミュニケーション1		1	
	ドイツ語コミュニケーション2		1	
	フランス語基礎1		1	
	フランス語基礎2		1	
	フランス語コミュニケーション1		1	
	フランス語コミュニケーション2		1	
	中国語基礎1		1	
	中国語基礎2		1	
	中国語コミュニケーション1		1	
	中国語コミュニケーション2		1	
韓国語基礎1		1		
韓国語基礎2		1		
韓国語コミュニケーション1		1		
韓国語コミュニケーション2		1		
外書講読	外書講読1		1	
	外書講読2		1	
	外書講読3		1	
	外書講読4		1	

6単位以上

2. 外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目

区分	授業科目の名称	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
日本語	上級日本語聴解1		2		外国人・帰国子女はこのうち20単位までを教養科目群の単位に替えることができる。	
	上級日本語聴解2		2			
	上級日本語文字・語彙1		2			
	上級日本語文字・語彙2		2			
	上級日本語文法1		1			
	上級日本語文法2		1			
	上級日本語読解1		2			
	上級日本語読解2		2			
	日本語アカデミックリーディング1		2			2単位以上
	日本語アカデミックリーディング2		2			
	日本語アカデミックプレゼンテーション1		2			2単位以上
	日本語アカデミックプレゼンテーション2		2			
	日本語アカデミックライティング1		2			2単位以上
	日本語アカデミックライティング2		2			
	日本語アカデミックライティング3		1			1単位以上
	日本語アカデミックライティング4		1			
	日本語アカデミックスキル1		1			1単位以上
	日本語アカデミックスキル2		1			

3. 国際経営学部専門科目群

1) 国際経営学部 専門関連科目

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
関連科目	時事英語		1		専門科目の卒業要件単位数 国際経営学部国際経営学科 60 単位以上 学科における専門科目の履修は、国際経営学部専門関連科目及び国際経営学科専門科目から60単位以上修得するものとする。 (このうち必修32単位を修得し、卒業論文6単位又は卒業研究4単位を含むこと。) なお、「卒業研究」を選択した者は、専門関連科目又は学科専門科目から24単位を修得すること。
	英会話1		1		
	英会話2		1		
	英文法1		2		
	英文法2		2		
	欧州事情		2		
	芸能文化論		2		
	日本史概論1		2		
	日本史概論2		2		
	世界史概論1(西洋史)		2		
	世界史概論2(東洋史)		2		
	地理学概論		2		
	文化人類学		2		
	図書館概論		2		
	生涯学習論Ⅰ		2		
	生涯学習論Ⅱ		2		
	文化財科学概論		2		
	まちづくり特論		2		
	アートマネジメント		2		
	アニメーション概論		2		
	地方自治論		2		
	地方行政論		2		
	比較文化研究		2		
	図書館サービス概論		2		
	情報サービス論		2		
	児童サービス論		2		
	世界遺産研究(国外)		2		
	世界遺産研究(国内)		2		
	教育実践Ⅰ		1		
	教育実践Ⅱ		1		
	総合ゼミⅠ		1		
	総合ゼミⅡ		1		
	ビジネス日本語(聴読解)1		1		
	ビジネス日本語(聴読解)2		1		
ビジネス日本語(リーディング)1		1			
ビジネス日本語(リーディング)2		1			
ビジネス日本語(ライティング)1		1			
ビジネス日本語(ライティング)2		1			
ビジネス日本語(コミュニケーション)1		1			
ビジネス日本語(コミュニケーション)2		1			
ビジネス日本語(経済と社会)1		1			
ビジネス日本語(経済と社会)2		1			

2) 国際経営学科専門科目

科目区分		授業科目	単位数			備考			
			必修	選択	自由				
学科専門	演習科目	発展演習1 (国際経営)	1						
		発展演習2 (国際経営)	1						
		専門演習1 (国際経営)	1						
		専門演習2 (国際経営)	1						
		卒業演習1 (国際経営)	1						
		卒業演習2 (国際経営)	1						
	入門コア科目	経営学の基礎	2						
		会計学の基礎	2						
		観光・地域経営の基礎	2						
		情報科学概論	2						
	経営学分野	専門基礎科目	マーケティング論		2				
			経営管理論		2				
			生産システム論		2				
			経営組織論		2				
			商業概論		2				
			ビジネス実務演習 I		1				
			ビジネス実務演習 II		1				
		専門展開科目	国際マーケティング論		2				
			国際経営論		2				
			経営戦略論		2				
			中小企業論		2				
			アジア経営		2				
		専門応用科目	経営分析		2				
			経営工学		2				
			現代企業経営論		2				
			リスクマネジメント		2				
			多国籍企業論		2				
			経営法務		2				
			マーケティング戦略		2				
			マーケティング演習		1				
			品質管理		2				
			経営学特別講義 1		2				
			経営学特別講義 2		2				
			経営学特別講義 3		2				
			経済学分野	専門基礎科目	マクロ経済学		2		
					ミクロ経済学		2		
国際経済概論					2				
国際金融					2				
金融政策					2				
専門展開科目		ファイナンス論			2				
	銀行論			2					
	貿易論			2					
専門応用科目	中国経済論			2					
会計学分野	専門基礎科目	簿記 I A		2					
		簿記 I B		2					
		簿記 II A		2					
		簿記 II B		2					
		簿記 III A		2					
		簿記 III B		2					
		簿記 IV		1					
		簿記 V		1					
		簿記 VI		1					
		簿記特別講座 I		2					
		簿記特別講座 II		2					
		簿記特別講座 III		2					
		専門展開科目	会計学 I		2				

科目区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
学科専門				2			
				2			
				2			
				2			
		専門応用科目	財務諸表論Ⅰ		2		
			財務諸表論Ⅱ		2		
			税法概論Ⅰ		2		
			税法概論Ⅱ		2		
			監査論		2		
			管理会計		2		
			税務会計		2		
			国際会計論		2		
		観光・地域経営分野	専門基礎科目	観光学総論		2	
			観光ビジネス論		2		
			観光資源論		2		
			アグリビジネス		2		
			環境と経済		2		
			地域参加実習		1		
			旅行業務論Ⅰ		2		
			旅行業務論Ⅱ		2		
			観光地域論Ⅰ		2		
			観光地域論Ⅱ		2		
		専門展開科目	エネルギー戦略		2		
			観光地理		2		
			観光産業論		2		
			文化観光論		2		
			観光サービス論		2		
			アジア観光経営		2		
			食料流通システム		2		
			農業政策		2		
			民法		2		
			財政学		2		
		専門応用科目	地域経営論		2		
			観光マーケティング		2		
			観光戦略論		2		
			環境エネルギー政策		2		
			地域ブランド論		2		
			観光・地域経営実習		1		
		国際言語・国際関係分野	専門展開科目	国際コミュニケーション		2	
				国際関係史		2	
				英語経営		2	
				中国語経営		2	
				韓国語経営		2	
			専門応用科目	上級国際会計論		2	
				上級国際経済論		2	
				上級国際経営論		2	
		情報関連分野	専門展開科目	情報ネットワーク		2	
			データベースシステム		2		
			経営情報システム論		2		
			情報処理実習Ⅰ		1		
			情報処理実習Ⅱ		1		
			マルチメディア情報処理		1		
		専門応用科目	ソフトウェア利用論		2		
			情報社会論		2		
			情報産業経営論		2		
学科専門			卒業論文		6	} 1科目選択必修	
			卒業研究		4		

別表第2(学則第28条第2項)

4. 教職に関する科目

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
教育職の研究		2		(進路指導を含む。) 食物栄養学科
教育原論		2		
教育学		2		
発達心理学		2		
教育制度論		2		
教育課程論		2		
国語科教育法Ⅰ		2		
国語科教育法Ⅱ		2		
国語科教育法Ⅲ		2		
国語科教育法Ⅳ		2		
英語科教育法Ⅰ		2		
英語科教育法Ⅱ		2		
英語科教育法Ⅲ		2		
英語科教育法Ⅳ		2		
社会科教育法Ⅰ		2		
社会科教育法Ⅱ		2		
社会科教育法Ⅲ		2		
社会科教育法Ⅳ		2		
地理歴史科教育法Ⅰ		2		
地理歴史科教育法Ⅱ		2		
公民科教育法Ⅰ		2		
公民科教育法Ⅱ		2		
美術科教育法Ⅰ		2		
美術科教育法Ⅱ		2		
美術科教育法Ⅲ		2		
美術科教育法Ⅳ		2		
福祉科教育法Ⅰ		2		
福祉科教育法Ⅱ		2		
理科教育法Ⅰ		2		
理科教育法Ⅱ		2		
理科教育法Ⅲ		2		
理科教育法Ⅳ		2		
商業科教育法Ⅰ		2		
商業科教育法Ⅱ		2		
道德教育の研究		2		
特別活動論		2		
教育方法論		2		
教育学方法論		2		
生徒指導論		2		
生徒指導論		2		
教育相談論		2		
カウンセリング概論		2		
実習指導		1	(事前・事後の指導を含む。)	
介護等体験実習指導		1		
介護等体験実習		1		
教職実践演習(中・高)		2		
教職実践演習(栄養教諭)		2		
教育実習Ⅰ		2		
教育実習Ⅱ		2		
総合演習(人権問題)		1		
栄養教育実習指導		1	(事前・事後の指導を含む。)	
栄養教育実習		1		

別表第3(学則第28条第2項)

5. 司書に関する科目

区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
基礎科目	生涯学習概論		2		
	図書館概論		2		
	図書館情報技術論		2		
	図書館制度・経営論		2		
図書館サービスに関する科目	図書館サービス概論		2		
	情報サービス論		2		
	児童サービス論		2		
	情報サービス演習Ⅰ		1		
	情報サービス演習Ⅱ		1		
図書館情報資源に関する科目	図書館情報資源概論		2		
	情報資源組織論		2		
	情報資源組織演習Ⅰ		1		
	情報資源組織演習Ⅱ		1		
選択科目	図書館基礎特論		1		
	図書館サービス特論		1		
	図書館情報資源特論		1		
	図書・図書館史		1		
	図書館施設論		1		
	図書館総合演習		1		
	図書館実習		1		

別表第4(学則第28条第2項)

6. 司書教諭に関する科目

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
学校経営と学校図書館		2		
学校図書館メディアの構成		2		
学習指導と学校図書館		2		
読書と豊かな人間性		2		
情報メディアの活用		2		

別表第5(学則第28条第2項)

7. 学芸員に関する科目

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
生涯学習概論		2		
博物館概論		2		
博物館展示論		2		
博物館資料論		2		
博物館経営論		2		
博物館資料保存論		2		
博物館情報・メディア論		2		
博物館教育論		2		
博物館実習Ⅰ		1		
博物館実習Ⅱ		1		
博物館実習Ⅲ		1		
考古学概論		2		学部共通専門科目
文化財科学概論		2		学部共通専門科目
世界遺産学概論		2		学部共通専門科目
民俗学概論		2		学部共通専門科目
環境歴史学概論		2		学部共通専門科目
美術史概論		2		学部共通専門科目
文化人類学		2		学部共通専門科目
日本文学史		2		国際言語・文化学科
日本美術史概論		2		国際言語・文化学科
東洋美術史概論		2		国際言語・文化学科
西洋美術史概論		2		国際言語・文化学科
書道史Ⅰ		2		国際言語・文化学科
書道史Ⅱ		2		国際言語・文化学科
美術工芸論		2		史学・文化財学科
人類学総論		2		史学・文化財学科
文化財保護論		2		史学・文化財学科
アーカイブズ論Ⅰ		2		史学・文化財学科
アーカイブズ論Ⅱ		2		史学・文化財学科
分析化学		2		発酵食品学科
医学概論		2		発酵食品学科
香料学概論		2		発酵食品学科
調味食品学		2		発酵食品学科
食品分析学		2		発酵食品学科
基礎化学		2		発酵食品学科

別表第6(学則第28条第2項)

8. 日本語教員に関する科目

区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
社会・文化・地域に関わる領域	社会・文化・地域	日本文化史		2	
		世界文化史		2	
		国際関係論		2	
		日本語学講義4(古代日本語の歴史)		2	
		日本語学講義5(近代日本語の歴史)		2	
		日本語教育概論1		2	
		日本語教育概論2		2	
	日本語教育キャリア形成論		2		
	言語と社会	日本語学研究2(日本語の方言)		2	
		日本語学研究3(日本語のバリエーション)		2	
比較文化研究			2		
教育に関わる領域	言語と心理	国際文化特論1(言語と文化)		2	
		言語習得概論		2	
		心理学I		2	
		心理学II		2	
	言語と教育	日本語教育教材論		2	
		日本語教育実習指導1		1	
		日本語教育実習指導2		1	
		日本語教育実習1		1	
		日本語教育実習2		1	
		異文化共有論		2	
		情報リテラシーI		2	
		情報リテラシーII		2	
		言語学概論		2	
言語に関わる領域	言語	日本語学講義1(音声言語を含む)		2	
		日本語学講義2(日本語の語彙)		2	
		日本語学講義3(現代日本語文法)		2	
		日本語学研究4(日本語の表記)		2	
		日本語学研究5(日本語の文体)		2	
		英語1		1	
	英語2		1		
	英語3		1		
	英語4		1		
	TOEIC1		1		
	TOEIC2		1		
	ドイツ語基礎1		1		
	ドイツ語基礎2		1		
	フランス語基礎1		1		
	フランス語基礎2		1		
	中国語基礎1		1		
	中国語基礎2		1		
	韓国語基礎1		1		
	韓国語基礎2		1		
	英会話1		1		
	英会話2		1		
	ビジネス日本語(聴読解)1		1		
	ビジネス日本語(聴読解)2		1		

別表第7(学則第28条第2項)

9. 文書館専門職(アーキビスト)に関する科目

授 業 科 目		単位数			備 考
		必修	選択	自由	
基礎科目	市民生活とアーカイブズ		2		
	行政法		2		
	アーカイブズ論Ⅰ		2		
	アーカイブズ論Ⅱ		2		
記録管理科目	アーカイブズ管理論		2		
	レコードマネジメント論		2		
	デジタルアーカイブズ		2		
記録資料科目	講義系	日本史講義1(古代史料論)		2	
		日本史講義2(中世史料論)		2	
		日本史講義3(近世史料論)		2	
		日本史講義4(近現代史料論)		2	
		世界史講義1(東洋史)		2	
		世界史講義2(アジア史)		2	
		世界史講義3(西洋史)		2	
		法制史		2	
		国際交渉論		2	
		宗教史		2	
		日本史特講1(古代史)		2	
		日本史特講2(中世史)		2	
		日本史特講3(近世史)		2	
		日本史特講4(近現代史)		2	
	演習系	専門演習1(古代・中世史)		1	
		専門演習1(近世史)		1	
		専門演習1(近現代史1)		1	
		専門演習1(近現代史2)		1	
		専門演習2(古代・中世史)		1	
		専門演習2(近世史)		1	
専門演習2(近現代史1)			1		
専門演習2(近現代史2)			1		
実習科目	アーカイブズ実習Ⅰ		1		
	アーカイブズ実習Ⅱ		1		

別表第8(学則第62条)

別科日本語課程専門科目

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
日本語ⅠA(表現文型・文法Ⅰ)	6			修了要件単位数34単位以上
日本語ⅠB(読解Ⅰ)	2			
日本語ⅠC(聴解Ⅰ)	3			
日本語ⅠD(会話Ⅰ)	3			
日本語ⅠE(作文Ⅰ)	2			
日本語ⅡA(表現文型・文法Ⅱ)	2			
日本語ⅡB(読解Ⅱ)	6			
日本語ⅡC(聴解Ⅱ)	3			
日本語ⅡD(会話Ⅱ)	3			
日本語ⅡE(作文Ⅱ)	2			
日本事情Ⅰ		4		
日本事情Ⅱ		2		
英語		2		

別表第9（学則第71条）

（1）入学検定料

全学部	30,000円
-----	---------

（2）入学金

全学部	200,000円
-----	----------

（3）授業料、施設整備費、教育研究料

学部	納入金内訳	金額
文学部	授業料	680,000円
	施設設備費	100,000円
	教育研究料	110,000円
食物栄養科学部	授業料	840,000円
	施設設備費	130,000円
	教育研究料	120,000円
国際経営学部	授業料	680,000円
	施設設備費	100,000円
	教育研究料	110,000円

別表第10（学則第64条）

別科日本語課程

納入金内訳	金額
入学検定料	30,000
入学金	150,000
授業料	500,000

別表第11 (学則第3条)

学部・学科の教育研究上の目的

文学部	国際言語・文化学科	言語、文化、文学、芸術実技・理論に関する「日本語・日本文学コース」、「英語・英米文学コース」、「国際文化コース」および「芸術」系の諸コースにおいて、十分な専門的知識と技術を備え、総合的な視点から諸問題に対応できる広い視野あるいは国際的な視野をもった人材、教員や図書館司書のような、将来、地域教育・学術文化を担う人材、あるいは将来研究者を目指す人材を養成することを目的とする。
	史学・文化財学科	日本史、世界史、考古学、民俗学、環境歴史学、文化財保存科学に関する「世界史コース」、「日本史・アーカイブズコース」、「考古学・文化財科学コース」、「環境歴史学・文化遺産学コース」において、総合的な視点から諸問題に対応できる広い視野をもった人材、あるいは教員や学芸員のような、将来、地域教育・学術文化を担う人材、あるいは将来研究者を目指す人材を育成することを目的とする。
	人間関係学科	福祉、心理学、生涯教育（スポーツ分野）に関する「社会福祉コース」、「心理コース」、「教育・生涯スポーツコース」において、学際的観点に立ち、これらの諸問題を理論的かつ実践的に解決できる人材、社会福祉士・精神保健福祉士・教員・認定心理士・社会調査士などの資格を取得し、地域社会の活性化あるいは再生を担うことができる人材を養成することを目的とする。
食物栄養科学部	食物栄養学科	食と健康に関する実際に即した専門教育を施し、視野の広い社会観、人間観を涵養することで、食と栄養を通して人びとの健康を守り、病気の予防や回復に貢献する、21世紀の健康的な社会の構築に寄与できる人材を育成することを目的とする。
	発酵食品学科	人間教育を中心とし、人格の陶冶に努め、実際に即した食とバイオサイエンスに関する専門教育を行い、地域社会ならびに国際社会の発展に貢献できる有為な人材を育成することを目的とする。
国際経営学部	国際経営学科	グローバル化かつ多様化した現代社会において、特に地域的、経済的、社会文化的にクロッシング・ボーダー化した領域において活躍できる経営能力を身につけた人材を養成する。